



監督署だより

平成 29 年 7 月号
発行：古川労働基準監督署

STOP！熱中症 クールワークキャンペーン 重点取組期間

7 月には梅雨明けを迎える地域が多く、急激な WBGT 値（暑さ指数）の上昇が想定されるとともに、例年 7 月、8 月に熱中症が多く発生しています。

熱に慣れるまでの間は、こまめな休憩が必要です。その場合、労働者は熱に慣れていませんので、WBGT 値（暑さ指数）に応じ、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。

取組事項

- 暑さ指数の低減効果を改めて確認し、必要に応じ追加対策を行いましょ。
- 特に梅雨明け直後は、暑さ指数に応じて、作業の中断・短縮、休憩時間の確保を徹底しましょ。
- 水分、塩分を積極的にとりましょ。
- 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲み過ぎに注意し、当日の朝食はきちんととりましょ。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょ。
- 異常を認めたときは、ためらうことなく救急車を呼びましょ。

熱中症防止の労働衛生教育の内容

項目	管理者向け研修		雇入れ時、新規入場時の労働者向け研修
熱中症の症状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱中症の概要 ・ 職場における熱中症の特徴 ・ 体温の調節 ・ 体液の調節 ・ 熱中症が発生する仕組みと症状 	30 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱中症の概要 ・ 職場における熱中症の特徴 ・ 体温の調節 ・ 体液の調節 ・ 熱中症が発生する仕組みと症状
熱中症の予防方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ WBGT 値（意味、基準値に基づく評価） ・ 作業環境管理（WBGT 値の低減、休憩場所の整備等） ・ 作業管理（作業時間の短縮、熱への順化、水分及び塩分の摂取、服装、作業中の巡視等） ・ 健康管理（健康診断結果に基づく対応、日常の健康管理、労働者の健康状態の確認、身体の状況の確認等） ・ 労働衛生教育（労働者に対する教育の重要性、教育内容及び教育方法） ・ 熱中症予防対策事例 	150 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ WBGT 値の意味 ・ 現場での熱中症予防活動（熱への順化、水分及び塩分の摂取、服装、日常の健康管理等）
緊急時の救急処置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急連絡網の作成及び周知 ・ 緊急時の救急措置 	15 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時の救急措置
熱中症の事例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱中症の災害事例 	15 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱中症の災害事例

* 太字下線は日常教育事項

教育用教材としては、厚生労働省ホームページに公表されている「職場における熱中症予防対策マニュアル」及び熱中症予防対策について点検すべき事項をまとめたリーフレット等、環境省熱中症予防情報サイトに公表されている熱中症に係る動画コンテンツ及び救急措置等の要点が記載された携帯カード「熱中症予防カード」などが活用できます。

～大崎働く人の健康・体力づくり運動～

歩数アップチャレンジ 参加事業所募集中 申込は、8月4日（金）まで

定期健康診断における有所見率は、5割を超える状況にあり、脳血管疾患及び虚血性心疾患等（以下「脳・心臓疾患」という。）による労災支給決定件数も高水準にあり、脳・心臓疾患の発生防止の徹底を図ることが必要な状況にあります。

また、大崎地域においては、運動習慣のある人が少なく、メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合が40歳代男性において宮城県平均より高い状況にあります。

大崎働く人の健康・体力づくり運動では、労働者とその事業場がそれぞれの状況に応じて「疲労のない余裕を持って仕事ができる体力づくり」に連携して取り組むことにより、各自の健康寿命の延伸と生活の質の向上を実現すること目的としています。

これらの課題への取組として、「3人の仲間と歩こう！歩数アップチャレンジ」が実施されますので、ぜひ御参加ください。申込方法等の詳細は、宮城県北部保健福祉事務所ホームページをご覧ください。下記に問合せをお願いします。

おおさき健康ナビ

検索

対 象

大崎保健所管内の事業所及びその事業所に勤務する従業員（公社）宮城労働基準協会古川支部会員事業所及びその事業所に勤務する従業員

【歩数アップチャレンジ申込み・問合せ先】

宮城県大崎保健所 健康づくり支援班 ☎0229-87-8010

主催：宮城県大崎保健所 共催：公益社団法人 宮城労働基準協会古川支部

[管内の労働災害発生状況]

	28年 全期		26年 同期		27年 同期		28年 同期			29年 6月末				
	死 傷	死 亡	死 傷	死 亡	死 傷	死 亡	死	傷	死 亡	死 傷	死 亡	構成比 (%)	増減 数	増減率 (%)
全産業	309	2	119	2	95	2	142			118		100.0	-24	-16.9
製造業	85		25	1	25	2	44			33		28.0	-11	-25.0
建設業	56	1	18		14		26			11		9.3	-15	-57.7
運輸交通業	45		25		13		24			24		20.3	±0	
商業	47	1	14		15		25			20		16.9	-5	-20.0

好事例募集中です！

～良いもの・好いものは共有しましょう～

本誌に掲載する事業場の好事例を募集しています。安全衛生活動における創意工夫などの取組状況を安全衛生課まで電話等でお寄せください。

発行：古川労働基準監督署 安全衛生課（本誌に対するご意見、苦情等があればご連絡ください。）

電話 0229-22-2112(代表) 〒989-6161 大崎市古川駅南 2-9-47

バックナンバーは 「宮城労働局 古川労働基準監督署からのお知らせ」で

実施期間

平成 29 年

9月1日から11月30日まで

内 容

同じ事業所に勤務する3人でチームをつくる。

チームの各メンバーが、朝起きてから夜寝るまで歩数計を装着し、期間中毎日歩数を記録する。毎月の歩数記録表を事業所の担当者に提出する。

各事業所の担当者は、毎月参加チームの歩数記録表をとりまとめ、保健所に提出する。

表 彰

チームランキング賞

1日の平均歩数が一番多かったチーム

事業所ランキング賞

1日の平均歩数が一番多かった事業所

達成賞

1日の平均歩数が8,000歩以上のチームの中から抽選で5チーム